



1. 教育理念

すべての「やなぎっ子」の学びを保障する

2. 学校教育目標

生きる力を備え、地域で活躍できる人材の育成

たくましい子 かしこい子 やさしい子

3. 重点

チャレンジする	自分の考えをもつ	自分を表現する	人を大切にする
・「やってみよう」課題をもつ ・目標をもって取り組む ・自分に自信をもつ	・好奇心 ・自分事として捉える ・自分の考えや意見をもつ ・意見交換をして、振り返る ・目標達成のために手立てをもつ	・考えを書く・話す ・様々な表現方法を知る ・言葉で伝えることができる ・端末を適切に活用する	・お互いを認め合う ・話をよく聴く ・人の名前を覚える・呼ぶ ・挨拶ができる

手立て

人と関わる場の設定 → 人との関わりを大切にする	対話を取り入れた活動 → 対話を通して自分自身を見つめ成長を
子どもと子ども 子どもと教師 子どもと保護者 子どもと地域の方 教師と教師 教師と保護者 教師と地域の方々 保護者と保護者 保護者と地域の方々 （地域の方々と地域の方々）	自己内対話 考える・振り返る・書くなど 自分自身との対話 読書（作者との対話・登場人物との対話など） ペアトーク・グループトーク・クラスの話し合い など
良さや違いに気づく 見つめる 認める 自分事にする 変わる・変える 行動する など	

全ての土台となる自己有用感

・自分の属する集団の中で、自分がどれだけ大切な存在であるかということ。自分自身で認識すること

- ① 他者の存在を前提として自分の存在価値を感じる
- ② 誰かの役に立ちたいという成就感
- ③ 誰かに必要とされているという満足感

自己有用感から見た目指す姿

- ・自分が好き・自信をもつ ・がんばれる「気力」 ・自分の気持ちと素直に向き合う
- ・いきいき ・主体性 ・失敗を恐れず挑戦する ・将来生きていく力を持つ